

1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

線形代数☆演習 I L13(2024-05-24 Fri)

最終更新: Time-stamp: "2024-05-25 Sat 10:01 JST hig"

今日の目標

- 行列の和差逆スカラー倍を含む計算ができる
- 平面の 1 次変換による直線の像を, パラメタ表示と方程式で求められる
- 正射影を表す行列を求められる



L12-Q1

Quiz 解答: 転置の積の成分表示

 ${}^tA = [b_{ji}]$ とすると, $b_{ji} = a_{ij}$.

- ① $\sum_{k=1}^n a_{ik}a_{kj}$
- ② $\sum_{k=1}^n a_{ki}a_{kj}$
- ③ $\sum_{k=1}^n a_{ik}a_{jk}$

ここまで来たよ

12 転置行列・正則行列 | 第 1 章 行列の概念

13 1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

- 逆行列と転置行列
- 第 0 章 4'. 1 次変換による像
- 1 次変換としての正射影

転置の逆, 逆の転置

$({}^tA)^{-1} = {}^t(A^{-1})$ は成立するか?

アドバイス 難しい問はまず 2 次行列や例で考えてみる. 反例が見つかったらもうけもの.

ここまで来たよ

12 転置行列・正則行列 | 第 1 章 行列の概念

13 1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

- 逆行列と転置行列
- 第 0 章 4'. 1 次変換による像
- 1 次変換としての正射影

写像の像

$\boldsymbol{x} \in \mathbb{R}^2$ について, 2 次正方行列 A で表される 1 次変換 f による像を $\boldsymbol{x}' = f(\boldsymbol{x}) = A\boldsymbol{x}$ とする.

移動前 \boldsymbol{x} , 移動後 \boldsymbol{x}' .

点でなく部分集合についての定義.

定義 (写像による部分集合の像 加藤 線形代数 p.191)

$f: X \rightarrow Y$ を写像とする. 部分集合 $S \subset X$ について,
 $f(S) = \{f(x) | x \in S\} \subset Y$ を, 写像 f による S の像という.

「 S は f で $f(S)$ に写る」

正方形・平行四辺形の像

\mathbb{R}^2 の部分集合

$$\begin{aligned} S &= \left\{ \begin{bmatrix} s \\ t \end{bmatrix} \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R} \right\} \\ &= \left\{ \mathbf{e}_1 s + \mathbf{e}_2 t \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R} \right\} \end{aligned}$$

は, $\mathbf{0} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{e}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{e}_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$ を 4 頂点とする正方形.

正方形の像

正則行列 A で表される 1 次変換 f による, 正方形 S の像は?

$$\begin{aligned} f(S) &= \{A(\mathbf{e}_1 s + \mathbf{e}_2 t) \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R}\} \\ &= \{A\mathbf{e}_1 s + A\mathbf{e}_2 t \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R}\} \end{aligned}$$

これは, $\mathbf{0}, A\mathbf{e}_1, A\mathbf{e}_2, A\mathbf{e}_1 + A\mathbf{e}_2$ を 4 頂点とする平行四辺形 ($A\mathbf{e}_1$ と $A\mathbf{e}_2$ が張る平行四辺形)

実は, 平行四辺形の像も平行四辺形

実は A が正則行列であるなら $A\mathbf{e}_1, A\mathbf{e}_2$ は平行にならない (正方形はつぶれない). A が正則でないなら正方形は直線や 1 点につぶれる

パラメタ表示された直線の像

$\boldsymbol{x} = \boldsymbol{a}t + \boldsymbol{c}$ ($t \in \mathbb{R}$) とパラメタ表示される直線の, 行列 A で表される 1 次変換 f による像は? (\boldsymbol{a} 接ベクトル, \boldsymbol{c} 直線上の点)

移動前の点 \boldsymbol{x} が上のパラメタ表示で書ける.

移動後の点 $\boldsymbol{x}' = A\boldsymbol{x}$. A が正則行列なら, **左から** A^{-1} をかけて $A^{-1}\boldsymbol{x}' = \boldsymbol{x}$.

これをパラメタ表示に代入して, $A^{-1}\boldsymbol{x}' = \boldsymbol{a}t + \boldsymbol{c}$.

両辺に**左から** A をかけて, $\boldsymbol{x} = (A\boldsymbol{a})t + (A\boldsymbol{c})$ ($t \in \mathbb{R}$).

命題 (直線の 1 次変換による像のパラメタ表示)

直線 $x = at + c$ の, 行列 A の表す 1 次変換による像のパラメタ表示は

$$x = (Aa)t + (Ac) \quad (t \in \mathbb{R})$$

$Aa \neq 0$ のとき, これは直線.

A が正則のとき, 1 次変換で直線は直線に写る

接ベクトル a は Aa に写る.

「通る点」 c は Ac に写る.

L13-Q1

Quiz(パラメタ表示された直線の 1 次変換による像)

パラメタ表示

$$\boldsymbol{x} = \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 0 \\ 3 \end{bmatrix}, \quad t \in \mathbb{R}$$

をもつ \mathbb{R}^2 の直線 l を考える.

- ① 直線 l を描こう.
- ② 直線 l 上の点を 2 つ見つけよう ($\boldsymbol{x}_1, \boldsymbol{x}_2$ とする).
- ③ 行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & 3 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}$ で表される 1 次変換 f による l の像のパラメタ表示を求め、描こう.
- ④ 像 $f(\boldsymbol{x}_1), f(\boldsymbol{x}_2)$ を求めよう.

mobius K1.3.60

直線の 1 次変換による像の方程式

方程式 $\mathbf{n} \cdot (\mathbf{x} - \mathbf{c}) = 0$ で表される直線の, 行列 A の表す 1 次変換による像は? (\mathbf{n} 法線ベクトル, \mathbf{c} 直線上の点)

まず内積をやめて転置を使って行列で書く. $\mathbf{n} \cdot \mathbf{c} = {}^t\mathbf{n}\mathbf{c}$.

$${}^t\mathbf{n}(\mathbf{x} - \mathbf{c}) = 0$$

移動前の点 \mathbf{x} が上の方程式にしたがう. (A が正則行列なら) $\mathbf{x} = A^{-1}\mathbf{x}'$.
これを代入し, $E = A^{-1}A$ で細工して

$${}^t\mathbf{n}(A^{-1}\mathbf{x}' - (A^{-1}A)\mathbf{c}) = 0$$

$${}^t\mathbf{n}A^{-1}(\mathbf{x}' - A\mathbf{c}) = 0$$

$${}^t({}^t(A^{-1})\mathbf{n})(\mathbf{x}' - A\mathbf{c}) = 0$$

$$({}^t(A^{-1})\mathbf{n}) \cdot (\mathbf{x}' - A\mathbf{c}) = 0$$

命題 (直線の 1 次変換による像の方程式)

直線 $(\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}) \cdot \boldsymbol{n} = 0$ の, 行列 A の表す 1 次変換 f による像は, A が正則のとき,

$$({}^t(A^{-1})\boldsymbol{n}) \cdot (\boldsymbol{x} - A\boldsymbol{c}) = 0.$$

これは直線.

1 次変換で直線は直線に写る

法線ベクトル \boldsymbol{n} は ${}^t(A^{-1})\boldsymbol{n}$ に写る.

「通る点」 \boldsymbol{c} は $A\boldsymbol{c}$ に写る.

L13-Q2

Quiz(方程式で定まる直線の 1 次変換による像)

方程式

$$\begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix} \cdot (\boldsymbol{x} - \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix}) = 0$$

で定まる \mathbb{R}^2 の直線 l を考える.

- ① 直線 l を描こう.
- ② l 上の点を 2 つ見つけよう ($\boldsymbol{x}_1, \boldsymbol{x}_2$ とする).
- ③ 行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & 3 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}$ で表される 1 次変換 f による l の像の方程式を求めよう.
- ④ 像 $f(\boldsymbol{x}_1), f(\boldsymbol{x}_2)$ を求めよう.

mobius K1.3.60

ここまで来たよ

12 転置行列・正則行列 | 第 1 章 行列の概念

13 1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

- 逆行列と転置行列
- 第 0 章 4'. 1 次変換による像
- 1 次変換としての正射影

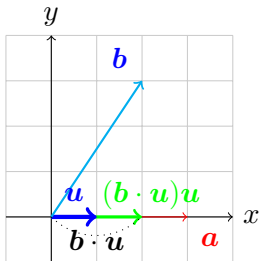
ベクトル b のベクトル a への正射影ベクトル

ベクトル a, b のなす角を θ , a と同じ向きの単位ベクトル $u_a = \frac{1}{|a|}a$.

定義 (スカラー射影と正射影ベクトル)

ベクトル b の a へのスカラー射影とは実数 $b \cdot u_a = |b| \times 1 \times \cos \theta$. (b の, a 向き成分ともいう).

ベクトル b の a への正射影ベクトル (正射影) とは $(b \cdot u_a)u_a = (|b| \times 1 \times \cos \theta)u_a$.



L13-Q3

Quiz(正射影ベクトルを与える 1 次変換を表す行列)

ベクトル $\boldsymbol{x} \in \mathbb{R}^2$ に対して, $\boldsymbol{a} = \begin{bmatrix} 3 \\ 4 \end{bmatrix}$ への正射影ベクトルを対応させる変換 $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$ は 1 次変換か. 1 次変換なら, f を表す行列を求めよう.

mobius K1.3.65

定義 (正射影)

ベクトル $\boldsymbol{x} \in \mathbb{R}^2$ に対して、 $\boldsymbol{a} (\neq \mathbf{0})$ への正射影ベクトルを対応させる 1 次変換 $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$ を、ベクトル \boldsymbol{a} への正射影という。

直交射影ともいう。

本当は、 \mathbb{R}^n で、直線、平面、 m 次元部分空間への正射影が定義されるが、ここではこのタイプに限定する。

命題 (正射影の性質)

\mathbb{R}^2 で、

- 正射影の値域は、原点を通り \boldsymbol{a} に平行な直線
- 正射影は単射でも全射でもない
- 正射影を表す行列は正則でない

正射影を表す行列

f を \mathbf{a} への射影とする.

\mathbf{b} の, \mathbf{a} への正射影ベクトルは,

$$\begin{aligned} f(\mathbf{b}) &= (\mathbf{b} \cdot \mathbf{u}_a) \mathbf{u}_a \\ &= \mathbf{u}_a (\mathbf{u}_a \cdot \mathbf{b}) \\ &= \frac{1}{|\mathbf{a}|^2} \mathbf{a} (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}) \\ &= \frac{1}{{}^t \mathbf{a} \mathbf{a}} \mathbf{a} {}^t \mathbf{a} \mathbf{b} \end{aligned}$$

これは行列の積と見なせる.

\mathbf{a} への正射影 f を表す行列は, $\frac{1}{{}^t \mathbf{a} \mathbf{a}} \mathbf{a} {}^t \mathbf{a}$

L13-Q4

Quiz(正射影ベクトルを与える 1 次変換を表す行列)

ベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} -2 \\ 0 \end{bmatrix}$ への正射影ベクトルを与える 1 次変換を f とする.

- ① f を表す行列を求めよう.
- ② f^{-1} は定義されるか? 定義されるなら f^{-1} を表す行列を求めよう.